吉井勇伯方島滞在 85 年記念　今治市村上海賊ミュージアム企画展

吉井勇と海賊の島

いのち短し、
恋せよ、少女

「ゴンドラの唄」の作詞で
知られる歌人、吉井勇。
八十五年前のひと夏を
伯方島で過ごし、
海賊の歴史に思いを馳せた。

開催記念講演会＆ギャラリートーク

「吉井勇と海賊の島」（仮）

講　師　細川光洋氏（静岡県立大学教授）

と　き　令和４年３月 25 日（金）18:30～20:30

ところ　村上海賊ミュージアム講座室・展示室

定　員　要申込（定員 30 名程度を予定）

申込先　村上海賊ミュージアム

令和４年３月４日（金）9:00 受付開始

☎0897-74-1065（受付時間 9:00～17:00）

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、企画展および講演会の中止・延期・内容変更を行う可能性があります。

左から4人目が吉井勇（写真提供　馬越健児氏）

i.i.imabari!
★ i'm into imabari! ★

会期　2022年 2月19日（土）～ 5月22日（日）

村上海賊ミュージアム企画展示室／観覧無料（常設展示観覧は有料）

月曜休館（祝日の場合は翌平日）／問合せ　☎0897-74-1065

※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、企画展および講演会の中止・延期・内容変更を行う可能性があります。

吉井勇伯方島滞在 85 年記念　今治市村上海賊ミュージアム企画展

吉井勇と海賊の島

『ゴンドラの唄』が初めて掲載された雑誌を初出展！

「いのち短し、恋せよ、少女」（『ゴンドラの唄』）の作詞で知られる歌人、吉井勇（よしい・いさむ）（明治 19（1886）～昭和 35（1960）年）は、昭和 11（1936）年の歌行脚で波止浜、小島、伯方島、大島、能島などを訪れ、翌昭和12（1937）年に伯方島へ再訪。旧光藤旅館に２か月半滞在し、多くの歌を世に残しました。令和４（2022）年は吉井勇の伯方島滞在から 85 年の節目にあたります。吉井勇の歌には、船折瀬戸や能島城周辺の激しい潮流、そこで活動した海賊に思いを馳せたものが多くあります。この企画展では、伯方島で詠んだ作品はもちろんのこと、滞在時の写真や関連資料を展示し、吉井勇を魅了した村上海賊の世界を紹介します。さらに、吉井勇研究の第一人者、細川光洋教授（静岡県立大学）が令和３（2021）年に発見した『ゴンドラの唄』の初出資料（大正４（1915）年発行の雑誌『新日本』）を初めて出展します。この機会にぜひご覧ください。

荒神瀬戸の激しい潮流（能島城跡から）

ますらをの雄ごゝろもちて能島なる
荒神の瀬戸の潮鳴を聴く

いにしへの海賊島の夜の灯を
遠くながめてなつかしみ居り

来島城跡（東側対岸から）

日本遺産村上海賊
公式 Twitter

村上海賊ミュージアム
公式 HP

今治市 村上海賊ミュージアム

〒794－2203　愛媛県今治市宮窪町宮窪 1285 番地
TEL：0897－74－1065
FAX：0897－74－1085
村上海賊ミュージアム　検索

【料金】常設展示観覧料：大人一般 310 円・高校生以下無料ほか、各種割引等有【休館日】月曜日・年末年始（月曜日が祝日の場合は翌平日が休館）【開館時間】9:00～ 17:00（最終入館は 16:30）【車でのアクセス】尾道・本州方面から：西瀬戸自動車道大島北 IC から約 3 ㎞、今治・四国方面から：大島南 IC から約 10 ㎞【公共交通機関】福山駅・尾道駅・今治駅から高速バスおよび島内の路線バスの乗継になります。詳しくはお問い合わせください。【駐車場】50 台　※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、企画展の中止・延期および展示内容の変更等を行う可能性があります。あらかじめご了承ください。

吉井勇伯方島滞在85年記念　今治市村上海賊ミュージアム企画展「吉井勇と海賊の島」展示資料一覧　　実物資料　52点

見出し	展示資料名	種別	年代	所蔵	概要
ゴンドラの唄	雑誌「新日本」第５巻（４）	実物	大正４	個人蔵	ゴンドラの唄の初出資料
	セノオ楽譜ゴンドラの唄第６版	実物	大正９	個人蔵	従来のゴンドラの唄の歌詞
	「短歌研究」令和4年2月号	実物	令和４	個人蔵	「ゴンドラの唄」初出発見の報告
略年表前半	歌集『祇園歌集』（2冊展示）	実物	大正４	個人蔵	
	歌集『悪の華』	実物	昭和2	個人蔵	
	歌集『人間経』	実物	昭和9	個人蔵	土佐猪野々の宿で編まれた歌集
	随筆集『わびずみの記』	実物	昭和11	個人蔵	杉皮装
大歌行脚	昭和9年10月25日付大鹿卓宛書簡	実物	昭和9	個人蔵	「寂しい」で締めくくられた手紙
	吉井勇短冊	実物		個人蔵	「寂しければ…」
	昭和11年5月7日写真（明神鼻）	実物	昭和11	個人蔵	歌行脚の際の舟遊び
	昭和11年5月7日写真（鵜小島）	実物	昭和11	個人蔵	歌行脚の際の舟遊び
来島の瀬戸	吉井勇のトランク	実物		個人蔵	土佐時代の世話人今戸益喜が大切に保管していた
	吉井勇の草履	実物		個人蔵	土佐時代の世話人今戸益喜が大切に保管していた
	土佐時代の吉井勇の名刺	実物		個人蔵	
	森光繁著『伊予水軍物語』	書籍	昭和33	村上海賊ミュージアム蔵	吉井勇が波止浜周辺を訪れた際のエピソードが歌を引用して綴られている
	昭和初年頃の波止浜周辺の風景写真	写真パネル	昭和初年頃	個人提供	波止浜塩田、来島、小島などの貴重な写真
	大阪商船「伊予へ伊予へ」昭和11年5月号	実物	昭和11	個人蔵	吉井勇「来島海峡」の歌入り観光パンフレット
	大阪商船「来島海峡・大三島・遊覧案内」12年11月号	実物	昭和12	個人蔵	昭和12年の観光パンフレット
伊予海賊	昭和10年頃能島城跡写真	写真パネル	昭和10頃	村上海賊ミュージアム蔵	
	吉井勇主宰誌「遍路」第３巻（５）ほか2冊	実物	昭和12	個人蔵	能島を詠んだ歌などが収められている
	吉井勇色紙（額装）	実物		個人蔵	宮窪港の歌碑「ますらをの…」のもとになった色紙
	歌随筆『雷』聖戦編	実物	昭和17	村上海賊ミュージアム蔵	勇が能島城跡を訪れた時のエピソード
	歌集『風雪』能島	実物	昭和15	村上海賊ミュージアム蔵	能島・来島海峡を詠んだ歌などが多く収められている
	歌集『旅塵』伊予海賊	実物	昭和19	村上海賊ミュージアム蔵	能島・来島海峡を詠んだ歌などが多く収められている
	宮窪町観光協会発行能島城跡パンフレット	実物	昭和51以降	村上海賊ミュージアム蔵	「眉太き海賊顔の…」の歌が掲載されている
伯方島	昭和12年6月30日吉井勇写真（光藤旅館にて）	実物	昭和12	個人蔵	『短歌文学全集　吉井勇篇』に使用された写真
	吉井勇が光藤旅館で愛用した机の写真	写真パネル		個人提供	
	昭和12年4月9日付赤木格堂宛て連名葉書	実物	昭和12	個人蔵	伯方島に来る直前、和田義一との連名の葉書
	『短歌文学全集　吉井勇篇』（2冊展示）	実物	昭和12	個人蔵 村上海賊ミュージアム蔵	この全集を編集するために伯方島に滞在した個人蔵本には「大鹿卓様　吉井勇」の署名入り
	大阪商船PR誌「海」昭和12年9月号ほか３冊	実物	昭和12	個人蔵	伯方島や能島を詠んだ歌が掲載されている
	吉井勇が滞在した光藤旅館宿泊人名簿（宿帳）	実物	昭和４年～	個人蔵	吉井勇が光藤旅館に滞在した貴重な記録
	吉井勇歌軸	実物		個人蔵	伯方島有津の歌碑「人麿が…」のもとになった歌軸
	吉井勇歌軸	実物		個人蔵	歌集『風雪』に収められた「国をあけて…」の歌
	歌集『天彦』（普及本）	実物	昭和14	村上海賊ミュージアム蔵	伯方島の歌が多く収められている
	歌集『天彦』（黒漆特装本）	実物	昭和14	個人蔵	限定50部の署名入り特装本
	和田義一編『伊予郷土文学選』	実物	昭和9	個人蔵	吉井勇の案内役の和田義一が編集。勇の歌もある
	樋口一郎画「瀬戸の風景」（仮題）　油彩画	油彩画		個人蔵	勇の友人である画家樋口一郎の作品
勇を支えた人々	大澤輝彦宛て吉井勇書簡　６通	実物	昭和11～	個人蔵	伯方島での世話人であった大澤輝彦宛の貴重な書簡類
	雑誌「瀬戸内海」第1巻（３）	実物	昭和21	個人蔵	大澤輝彦を詠んだ歌
	今戸益喜宛て吉井勇書簡　２通	実物	昭和12	個人蔵	土佐時代の世話人今戸益喜に宛てて伯方島の木浦郵便局から発送されたものを展示
	今戸益喜宛て吉井勇電報	実物	昭和12	個人蔵	今戸益喜が戦地に赴く際に電報で歌を送った
略年表後半	昭和13年9月15日付「叙従三位」の詔書	実物	昭和13	個人蔵	勇が「爵位を返上した」とする定説を覆す貴重な資料
	吉井勇短冊	実物		個人蔵	「はるばると深山を…」安住の地京都で詠んだ歌
	昭和32年5月30日吉井勇写真	実物	昭和32	個人蔵	最後の来県時に道後で撮影した写真
	葬儀通知書	実物	昭和35	個人蔵	昭和35年11月19日に永眠した吉井勇の葬儀通知書
吉井勇作品集	吉井勇短冊	実物		個人蔵	「落柿舎に…」大澤輝彦が所蔵していた短冊
	吉井勇歌入り扇（額装）	実物		個人蔵	珍しい歌入りの扇。「みすゞかる信濃の…」の歌
	吉井勇画讃歌軸	実物		個人蔵	珍しい吉井勇の俳句の軸、画の作者は不詳
	自筆歌集『祇園抄』	実物	昭和21	個人蔵	自筆の歌集。有名な「かにかくに祇園は…」の頁を展示
歌碑	吉井勇歌碑一覧	パネル			